

(参考) 令和6年12月 申請時の注意事項 正誤表

No	修正 内容	修正前		修正後	
		頁	241101-01版	頁	241202-03版
1	誤記 修正	30	・配置される登録基幹技能者により本発注工事と関連がある目的物が判別できるよう工事数量総括表の工種等を記載。 (工種のみ、工種・種別のみ、工種・細別のみなどの記載でもよい)	30	・配置される登録基幹技能者により本発注工事と関連がある目的物が判別できるよう工事数量総括表の工種等を記載。 <u>(工種等とは、本発注工事の工事数量統括表に記載される工種、種別、細別とし、工種・種別・細別の全て、またはいずれかを記載するものとする。)</u>
2	誤記 修正	30	・担当者として配置する場合は、1級舗装施工管理技術者の有資格者であれば、1回限り担当者の変更が可能。(自社職員に限る)	30	・担当者として配置する場合は、 <u>工事契約後において、同じ有資格者であれば、監督職員との協議により、途中交代を認める。</u>
3	修正	33	・手持ち工事量を評価する工事(<u>3億円未満の一般土木工事</u>)の場合、本様式を添付すること。		・手持ち工事量を評価する工事(<u>予定価格が3.4億円未満の一般土木工事</u>)の場合、本様式を添付すること
4	修正	21	建設業法第26条第3項ただし書きの規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置が認められる工事において記載する。 特例監理技術者の配置を予定している場合にのみ本様式を提出すること。上表の各項目を確認し、チェック欄に「■」を記載すること。(「レ」はチェック箇所が不明確になりますのでやめてください。) 競争参加資格確認時は、本チェックリストの確認のみとする。要件を確認するための資料は、落札決定前に提出を求める。	21	—
5	修正	26	<ICT実績について> (1)実績を証明できる工事関係書類等の写し 契約書・施工計画書・施工後のアンケート調査票等の写し等(工事名・工期・会社名・「MC、MG」を活用した施工実績を証明できる書類)	26	<ICT実績について> (1)実績を証明できる工事関係書類等の写し 契約書・施工計画書・施工後のアンケート調査票等の写し等(工事名・工期・会社名・「MC、MG」を活用した施工実績を証明できる書類) <u>(2)発注機関は指定しない</u>

No	修正 内容	修正前		修正後	
		頁	2 4 1 1 0 1－0 1 版	頁	2 4 1 2 0 2－0 3 版
6	修正	26	<BIM/CIM 実績について> (1) BIM／CIM実施報告書 (2) 実績を証明できる工事関係書類等の写し 工事図書など、BIM／CIMを実施して発注者に提出した書類(工事 名・工期・会社名・BIM/CIM 活用実績がわかるもの)		<BIM/CIM 実績について> (1) BIM／CIM実施報告書 (2) 実績を証明できる工事関係書類等の写し 工事図書など、BIM／CIMを実施して発注者に提出した書類(工事 名・工期・会社名・BIM/CIM 活用実績がわかるもの) (3) 国土交通省発注工事に限る